

# 学校だより たかみね

平成26年10月10日発行  
愛川町立高峰小学校  
愛川町三増767番地  
新責任者 小島一浩(校長)  
電話 046-281-0389  
FAX 046-281-6151

## 学校教育目標

ともに学び ひびきあおう  
～うごかそう こころとからだ～

10月の児童数 199人 (男子109人 女子90人)

家族の一員たる子ども

教頭 岩満 憲夫

学年便り5月号の続編のようなものを書かせていただきます。

時が止まったように、忘れられない子ども時代の一コマです。

宮崎は今でも早場米の産地として知られていますが、私の子どもの時も、ほぼ7月の終わりには稲刈りが始まっていました。早いですよね。遊びたい盛りの子どものには、夏休みを待ちかねたように黄色く色づいてくる田んぼ(稲)が恨めしくてなりません。

「農家の子どもでなければよかった。」「お店の子どもで生まれたら仕事しなくてよかったのになあ、好きなものもつまみ食いできて」「川遊びはやりたい放題だし」「夏休みなんかいらさない!」… よく働く、ということ、近所では評判の良かった私ですが、陰ではそんな悪態をやさしい母親に何度ついたかわかりません。(天国のおふくろには、いい歳になった今でも謝罪したい気持ちです…。)

夏休みに入り恒例の稲刈りが始まると、毎日のように6時頃には朝ご飯を食べ、父の運転する耕運機の荷台に乗って田んぼに出かけます。「ダッダッダッ…」(乗り心地、気分ともに悪し!!)

時には、公民館の広場でラジオ体操をしている友だちを横目に出かけます。ラジオ体操には参加したくても参加できなかったのです。

稲刈りの仕事は、それは過酷です。半端じゃありません。

午前中、ひたすら鎌で手刈りです。父、母、兄と私の4人で、たいていはスピードを競い合うように3列ずつ刈り取っていきます。刈り取った稲は地干し(日干し)するために田んぼに広げていきます。小学校高学年の頃には、刈り取るスピードが一番速い母や兄には勝てなかったものの、一番遅い父は軽々追い越していました。

午後は、午前中に刈り取って、田んぼ一面に広げられて、強い日光で乾いた稲を、束ねて藁ぼち(稲ぼち)にする作業です。こういった作業の日々が、ほぼ8月中旬まで延々と繰り返されます。

近隣の農家と比べても、広めの1町5反(1.5ヘクタール)ほどの田んぼの稲が、ほとんど同時に実ってくるのですから、もたもたしているわけにはいきません。少しでも立派な米を供出して、少しでも多くの収入を得るためには毎日の作業が真剣勝負なのです。

稲刈りの次は脱穀です。稲刈り→脱穀がすべて終わる頃、子どもにとっては悲しいかな、約束事のようにちょうど夏休みも終了(ガ～ン)。でも、天候不順の年は作業もなかなかかはかどらず、9月までくい込むこともしばしばでした。

考えてみてください。宮崎の7月、8月の猛暑の中の作業です。午前も午後も、着ている服を絞ったら水がしたたるほどに汗をかいては水分補給、の繰り返し。この過酷な作業には、よく耐えられたものだとも思います。今思えば、子どもの比ではなく、おやじやおふくろの苦労はちょっと一口で伝えることは困難なほどです。

米作り「88の作業」だけでも相当なものです。さらに言えば、ずっと以前から1年中ほとんど機械に頼らず、手作業で、身体を酷使して、祖先たちは農作物を育ててきました。もちろん家族の一員たる子どもたちもその渦中にありました…。そんな営みを多少なりとも実感できる現代人は、残念ながら減る一方でしょう。

不満たらたら悪態をついていた少年期の私ですが、そういった営みを感じることで育ったことはよかったんでしょうね。私の知っているご先祖様である、じいちゃんばあちゃん、父ちゃん母ちゃん、そして、ここからは遠く離れた宮崎の地には、特に深く感謝です。

結びに、ご報告。高峰小学校の稲は、先日の台風にもめげず、おかげさまで今年も、大収穫まちがいなしです。特に米作りに協力してくださっている落合貢さんにはお礼申し上げます。

## 10月の行事予定

- 10日(金) 連合運動会
- 14日(火) 三増合戦祭り参加者練習(17日まで)
- 15日(水) ノーテレビ・ノーゲームデー
- 17日(金) クラブ活動 連合運動会予備日
- 19日(日) 三増合戦祭り
- 20日(月) 児童朝会
- 21日(火) 教育相談 作品展 下校13:30
- 22日(水) 教育相談 作品展 下校13:30 P本部運営・運営委員会
- 23日(木) 教育相談 作品展 下校13:30
- 24日(金) 教育相談 作品展 下校13:30
- 29日(水) みねっ子フェスティバル実行委員会19:00
- 30日(木) 音楽鑑賞会(トリオリベルタ)
- 31日(金) 就学時検診 受付13:10 開始13:30

## 11月の行事予定

- 1日(土) 愛川町子ども議会
- 4日(火) 児童朝会(5年連音発表)委員会活動  
学校へ行こう週間(～8日)
- 5日(水) 本校研究会 1年14:45 2～6年13:20下校
- 7日(金) みねっ子フェスティバル前日準備
- 8日(土) みねっ子フェスティバル
- 10日(月) 振替休業・給食費引き落とし日
- 12日(水) 学校評議員会議11:30
- 14日(金) 5年連合音楽会
- 15日(土) ノーテレビ・ノーゲームデー
- 17日(月) みねっ子マラソン練習開始(～12/3)
- 19日(水) 先生方研究会のため、全学年12:55下校
- 20日(木) 1～3年授業参観・懇談会 代表委員会
- 21日(金) クラブ活動
- 26日(水) 4～6年授業参観・懇談会
- 28日(金) 学校保健委員会 1～3年13:55 4～6年14:40



一・二年 新江ノ島水族館



六年 華厳の滝



三・四年子ども科学館

六年 東照宮

## 「応援隊」はじめ皆様 枝下ろし&除草作業 ありがとうございました

10月4日(土)応援隊の皆様、PTA本部役員をはじめとする保護者の皆様、さらには、校庭を使用されているホワイトイーグルスの関係者の方々と児童も加わっていただき、樹木の枝下ろしや除草作業が行われました。

保護者の皆様には、夏休み明けの9月2日(火)、親子美化作業をしていただきました。そのときは、校庭の除草作業が中心でしたが、今回はさらにその仕上げをしていただきました。おかげさまで、校庭周りの見えやすいくところも、体育館や校舎裏の見えにくいところも、各所隅々まですっきりいたしました。お休みのところ、駆けつけてくださった皆様、本当にありがとうございました。

職員も学校の環境には重大な関心をもってしています。1年中、校内の畑や花壇も各種野菜や花で息づいているようにしたいと思っています。現在の畑は、秋野菜中心です。大根、白菜、ブロッコリー、ねぎ、そして、1年生が育てているさつまいもが収穫間近です。花壇は花植えボランティアの皆様の協力により、マリーゴールドやコスモスが咲き乱れています。終わりが近づいたゴーヤのグリーンカーテンは、その実がオレンジに色づき、割れて、なかの真っ赤な種を落としています。

野菜や花を実際に育てる生活科や総合学習はもちろんいいことです。実物を使って、観察や実験ができる理科学習もいいことです。それが可能な高峰小です。1年中、豊かな自然に囲まれて、きれいな空気を吸い、育つ子どもたちは幸せです。都会の子どもたちとは大いに違います。われわれ職員の使命は、この環境を生かした授業を積極的に行い、環境の大切さを折にふれ子どもたちに話し、伝えていくことだと思います。そのためにも、除草作業に加わらせて、環境を守る一翼を担っていることを実感させたいものです。また、作業をしてくださる皆様がいられることに感謝の気持ちを持たせたいものです。

ゆくゆくは、今協力してくださる皆様同様、次の担い手になるべき子どもたちであることを自覚して、日々の教育活動を展開していこうと思います。

## 諸連絡

★10月30日(木)トリオリベルタ演奏会  
13:10開場 13:25開演

☆11月8日(土)みねっ子フェスティバル  
多くの皆様のご来校をお待ちしています!  
(白菜・にんじん・大根ご提供お願いします)  
(バザー販売物品お願いします)

## いじめ防止対策の基本方針

高峰小学校の「いじめ対策基本方針」がホームページ上にアップされています。今後とも、職員一同、子どもたちの素朴で自由な人間関係を尊重し、心身ともに健全な成長を図っていきます。一方、

いじめの芽を見逃さず 見過ごさず

子どもたちの人間関係に過度の介入をするということではなく、気にかかる場面に遭遇したり、情報を得たりした場合、早々に解決を図り、時には毅然とした対応を心がけてまいります。みんなのことを考えたやさしい子どもたちになるように、保護者や地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。